



まるお

<学校教育目標>

自ら学び 自他を尊重し
心豊かでたくましい生徒の育成

<重点目標>

感謝+優しさ=笑顔と幸せへの道

発行：長崎市立丸尾中学校

文責：校長 川口 猛

NO.1

新しいスタート

2・3年生進級おめでとう。新入生、入学おめでとう。

私たちは1年間の中で2回、新たな志をたてる機会があります。一つは、『お正月』です。そしてもう一つが『新学期』です。やる気とともに、不安を抱えながらのスタートです。今がまさにその時期です。

4月7日（火）の始業式では、次のようなことを話しました。

今、この新しい気持ちの時に、『個人としてこうになりたい、集団としてこうになりたい』というものを設定しよう。今は、まさに、変わる時(change)で、変わるための絶好の機会(chance)であるとともに、変わるために挑戦を始める時期である(challenge)と話しました。『3つのC』について触れました。変化すること、難しいことですが、できない人はいません。少しでも変わろうとする意識がその人を変えていくのです。

さて、始業式では、『3C』以外に、皆に大切にしてほしいことを話しました。それは、今年の重点指導項目(スローガン)に関する内容です。

始業式ができること、入学式や卒業式ができたり、行事や普段の授業ができることを私たちは普通のこと、つまり当たり前と感じていると思います。しかし、現在のイランの人たちだけでなく、中東に住んでいる人、国内の内戦で命を守るために国を捨てて難民生活を送っている人などを考えると、私たちの生活は、決して当たり前ではないことに気づかされます。『当たり前ではない』と気づけば、ありがたいことだと実感します。『ありがたい』は、漢字で書けば、『有難い』『有難し』です。つまり、『有難し』は、『ありがとう』ととらえることができるのです。今、こうして生活できていることを『有難し』(ありがとう)と

感じ、常に『感謝』の気持ちを忘れずに行動することは、成長し、幸せになるための一つの鍵(かぎ)になります。

さて、『有難し』という言葉の中にある『難』を困難の『難』と解釈すると、『困難なことがある』という意味になります。一步成長した自分になろうと努力をすれば、当然ながら困難(苦難)を伴います。「どうすればいいのだろうか? つらいな、寂しいな・・・どうにでもなれ! もうやめちゃえ」という状況を『憂』(うれい)といいます。そのような状況は誰も嫌ですよ。だからこそ、そのような時に人が寄り添ってくれば、これほどうれしいことはありません。『憂』(うれい)という字の辺に、『人』という漢字を近づけるとどのような字になるでしょうか。人憂→人=イだから『優』という字になります。優しい心、支える心、思いやりは、他人を助け、笑顔にし、自分も笑顔になるのです。

感謝+優しさ=笑顔と幸せへの道

感謝の気持ちを持ち、優しさを忘れずに生活すれば、笑顔にあふれ、そして幸せに向かっていくと考えます。今年度の重点目標(テーマ)になります。

以上のような内容を始業式で話をするとともに、入学式の式辞においても触れました。



着任式での歓迎の言葉、始業式での2年代表および3年代表生徒の抱負を発表している様子です。写真は、個人の特定につながらるため、ぼかしを入れています。ご了承ください。

入学式の様子



入場する前の様子です。緊張度はMAXでしょう。



担任の先生を先頭に入場が始まります。



次々と入場してきます。どの生徒も緊張の色を隠せません。



呼名され、返事をして起立します。その後、新入生代表が挨拶を行いました。



在校生代表の歓迎の言葉です。何度も練習を重ね、立派な挨拶になりました



在校生の歓迎の歌の合唱です。



歓迎の歌は、伴奏も生徒が行いました。



1年生



2年生



3年生

素晴らしい笑顔ばかりです。

通信の写真には、ぼかしを入れています。ホームページにアップしたり、情報端末へ配信することから、個人情報保護法に基づき、個人特定を防ぐためです。ご了承ください。文章中也個人名は使用いたしません。アルファベツトにて標記します。見ごたえのある通信にはなりません、ご了承ください。文章が多い通信になるかもしれません。なお、上記の理由から転入転出教員も掲載いたしませんので、ご理解ください。